

東京目黒水素ステーションの開所について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、本日、東京都品川区に「東京目黒水素ステーション」を開所し、水素の販売を開始しましたので、お知らせいたします。

本ステーションは、昨年度開所した「八王子高倉水素ステーション」、「東京杉並水素ステーション」に続き、当社として、東京都において3カ所目の水素ステーションとなります。

当社は、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けて、四大都市圏に約40カ所の商用水素ステーションの開所に向けた準備を進めております。「東京目黒水素ステーション」を含め、当社の開所済みの水素ステーションは、合計27カ所となります。

当社は、今後とも水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウを活かし、水素の「製造」・「輸送」・「販売」の効率的なビジネスモデルの構築を通じて、水素社会の実現に向けて貢献してまいります。

【東京目黒水素ステーションの概要】

開所日	2016年3月14日
所在地	東京都品川区上大崎二丁目21-18
運営者	株式会社ENEOS水素サプライ&サービス
敷地面積	638㎡
供給方式	オフサイト方式(圧縮水素を水素トレーラー等で輸送)
水素供給設備	圧縮機、蓄圧器(カーボンファイバー複合容器)、冷凍機、充填機など
供給能力(※1)	300Nm ³ /h
充填圧力(※2)	70MPa(メガパスカル)
充填時間(※3)	約3分間

※1 燃料電池自動車1台に充填できる水素量が最大50Nm³の場合、1時間当たり5~6台に充填可能な能力。

※2 現在販売されている燃料電池自動車に搭載のタンク使用圧力に対応したもの。

※3 国際標準規格に基づく70MPa(満タン)までの充填時間。

【東京目黒水素ステーションの外観】



【水素充填機】



以上